

3類型	鉱工業品	通巻番号	5-21-012
地域資源名	淡路瓦	認定日	平成21年7月1日
地域	兵庫県南あわじ市	所管省庁	経済産業省

事業名: 淡路瓦の製造工程で排出される不良瓦を有効活用した水質浄化資材の開発・販売

会社名: 菊川建材株式会社
 連絡先: TEL: 0799-36-5055
 FAX: 0799-36-3359

所在地: 兵庫県南あわじ市湊1334

事業概要(新たな活用の視点)

- ・淡路の地場産業である瓦産業の不良瓦のリサイクル率が低く、その大半が最終処分場へ投棄されており、二次利用が課題となっている。
- ・本事業では、瓦の持つ多孔質で吸水・保水性の特長を大阪産業大学との共同開発により、瓦を水質浄化資材の基材として有効活用し、濾過・吸着・生物膜と組み合わせることで、それぞれに適した良質な水質浄化資材を開発する。



【河川用水質浄化資材のイメージ】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

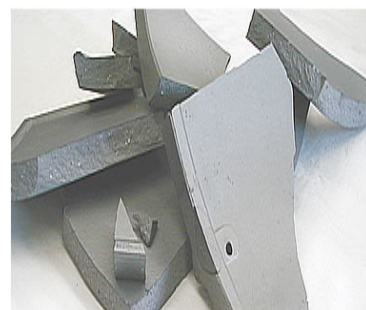
- ・基盤材として使用する淡路瓦(いぶし瓦)は、水質浄化材に用いられる他の基材と比較して、PHの変動、通水性、比重、強度、環境配慮などの特性に優れているといえる。
- ・従来の水質浄化資材は、単独の基材に生物膜を成長させて汚水を処理する方式が一般的であるが、本商品は碎瓦を基盤材に他の資材との組み合わせにより、良質な水質浄化資材を安価で提供でき、差別化ができる。

◆市場性

- ・平成17年に湖沼水質保全特別措置法の改正により、「流出水対策の制度、湖辺環境保護の制度」が追加され、水質保全の市場性の高まりは期待できる。

◆販路

- ・既に商品化した碎瓦の緑化基盤材の販売も順調で、本事業の販路も確立されている。



【不良いぶし瓦】

地域資源における関係事業者との連携

- ・淡路瓦のリサイクル利用として活用されにくかったが、今後は資材提供、販売、事業協力について地元の瓦業者との連携を拡大する計画である。